

読書の秋、神田古書店街を歩いてみませんか

◇「神田古書店街」は東京・神田神保町交差点を中心に163軒の古書店が軒を連ねている。

◇江戸時代、大名屋敷、侍屋敷だったこの界隈は明治に入って新政府の高官、華族、医者、文人などの知識階級が居住していたところだった。

◇専修大学が創立された明治のはじめ、官立、私立の各種学校がこの地に集まり始め、書物の需要が増加。それらを背景として出版社、本屋街が誕生した。創業100年を超える老舗書店も数多い。第二次大戦では連合国の知日派要人の進言により、この地だけ戦火を免れたというエピソードも伝えられている。ちなみに現在の岩波書店も古書店から出発している。

◇1000万冊の本が集められているという神田古書店街は、ロンドン、パリ、ニューヨークなどの古書店街もかぶとを脱ぐ、国内最大の古書集積地として、今では世界的にその名を知られている。

◇ここに足を運べば法律、経済、商学、文学、芸術、理工系など分野別の専門古書店がずらりと並んでいる。学問、芸術の歴史的成果を、古書でたどることが出来る。また欲しい本をあらかじめ専門別、店別にネットで検索、予約することも出来る。

▽BOOK TOWN神田 (<http://www.book-kanda.or.jp>) ※書店地図入り

◇明治の文豪、鴉外、漱石をはじめ、藤村や秋声、独歩や谷崎、志賀、太宰などの文学者たちが愛した街で、小説の舞台にもなった。今でも著名な学者、文人、芸術家が散策する姿を見ることもしばしば。まさに「知的興奮」に浸ることの出来るワールドだ。

◇毎年秋の読書週間には、靖国通りを中心として「100万冊大バーゲン」を開催。洋書、学術書、文学書、稀こう本、珍書、和書、漢籍、絵画、レコードなどを出展し、「青空オークション」などもあり楽しめる。今年は10月28日から11月3日まで開催される。



《校友の本紹介》

ファン ファン サッカー

ヒデ(中川秀樹さん=平6法)とワッキー(脇田寧人さん)のアスリート系お笑いコンビ「ペナルティ」がサッカーをもっと楽しむ本「ペナルティと一緒に! ファンファンサッカー」(グッドクール、本体1600円+税)を刊行した。インサイド、アウトサイドといったキックやヘディングなどの基本的な技術をはじめ、ポジション別テクニックを写真入りで紹介。技術監修を源平貴久・本学サッカー一部監督(平7経営)が務め、プレー解説ではサッカー部員も撮影に協力している。



ルール、用語集のほか、同じ時期にサッカー部で汗を流した源平監督との対談も収録された楽しい一冊になっている。

《専大校友を訪ねて》

一貫する郷土愛・趣味は野良仕事

— 今夏から第35代川崎市議会議員 矢澤博孝さん(昭43法)



京浜工業地帯として発展した産業の街。緑豊かな住宅地。海浜部と内陸部に異なる二つの顔を持つ川崎市。その調和を目指す同市市議会の舵取りを担う。

議長として「責任をひしひしと感じます」と、公平公正な議会運営を目指す。一方で「街をこよなく愛する者の代表」と周りを和やかにさせる明るく気さくな人柄は、党を超えて人気が高い。

同市宮前区出身。実家は代々農家。川崎市中央農協に勤務していた91年、市議選に自民党から初出馬。専大校友のベテラン議員の落選で、地元農家や農協職員から推された。迷いはあったが、「絆が強く、思いやりに富む地元(宮前区)の人々のためなら」と決心。同区の交通や下水道など社会基盤整備を公約に掲げた。約2万軒をコツコツと訪ねて回った努力が実り、高得票で当選。

地域への思いは、そのまま川崎市への思いに重なった。川崎縦貫高速鉄道線(新百合ヶ丘―武蔵小杉間ルート)早期事業許可推進などの市内の交通網整備を、ライフワークとして取り組んでいる。住み良い街づくりへ「地域党员」と公言する郷土愛は一貫している。

「善悪の分かる社会人に」と法学部を志し、「家から近くて馴染みがあった」専大へ。民法に興味を持ち、箱根のゼミ合宿(田辺繁子ゼミ)で仲間たちと語り合った思い出は忘れない。民法学研究会で、温泉に関わる権利について秋田県森岳温泉へフィールドワークも。母校愛は尽きることがなく、正月の箱根駅伝の応援にかけつける。専大後輩には「目標を高く持て」とメッセージを送る。

神奈川県無形民俗文化財に指定されている地元の「初山獅子舞」で、笛を吹いてきた。現在は同保存会会長を務める。趣味は「野良仕事」。多忙な毎日だが、夫人とともに2反(約1990平方メートル)の農地で汗を流す。「農業は、暮らしの原点。決して離れることはありません」。

公開講座情報

① 文部科学省オープン・リサーチ・センター整備事業

(A)

採択テーマ●イノベーション・クラスター形成に向けた川崎都市政策への提言

国際シンポジウム「イノベーション・クラスターの世界的な展開とネットワークの役割」(主催:社会知性開発研究センター/都市政策研究センター)

11月12日(土)9時30分~16時20分。川崎市産業振興会館1階ホール。同時通訳あり。【基調講演】西口敏宏氏(一橋大教授)【講演】李鍾玄氏(アジア・サイエンスパーク協会会長)/徐井宏氏(清華大学サイエンスパーク総裁)/ロン・マロニー氏(ピッツバーグ経済開発協会事務局長)【パネルディスカッション】李鍾玄氏/徐井宏氏/ロン・マロニー氏/原田誠司氏(長岡大教授)/平尾光司教授/池本 正純教授(コーディネーター)

(B)

採択テーマ●フランス革命と日本、アジアの近代化

公開講座「フランス革命に刻まれた民衆の思い」(主催:同/歴史学研究センター)

11月19日(土)13時~16時30分。生田114号教室【講演】近江吉明教授/松浦義弘氏(成蹊大教授)

(C)

採択テーマ●Anglo-Sxon語の継承と変容

シンポジウム「中世ヨーロッパ文学の展望」(主催:同/言語・文化研究センター)

11月20日(日)13時~17時。神田731号教室【講演】篠田勝英氏(白百合女子大教授)/松下知紀教授/池上忠弘氏(成城大名誉教授)【総合司会】池上昌氏(慶応大名誉教授)

公開講座 11月27日(日)13時~17時20分。神田731号教室【講演】松下知紀教授/佐藤弘明教授/大津由紀雄氏(慶応大教授)/今井邦彦氏(東京都立大名誉教授)

(D)

採択テーマ●アジアの産業発展と中小企業

国際シンポジウム「東アジアの産業発展と中小企業:中韓台を中心に」(主催:同/中小企業研究センター)

12月3日(土)14時~17時。神田6号館5階会議室【講演、パネルディスカッション】蘇顯揚氏(台湾 中華経済研究院国際経済研究所研究員)/李尹 楠(韓国建国大学校経営大学教授)/周立群(中国 南開大学経済学院院长)/黒瀬直宏教授

◆申し込み・問い合わせ先◆

大学院社会知性開発研究センター事務課(FAX044-911-1348、E-mail socio@acc.senshu-u.ac.jp)

(B)のみFAX044-911-1282、E-mail history@isc.senshu-u.ac.jp)

② 専修大学商学研究所・大学院商学研究科・慶南大学地域問題研究院 共同開催公開国際シンポジウム「地域経済における研究所・企業の役割—日韓の取組み—」

10月22日(土)13時~16時45分。神田731号教室【講演】上田和勇教授/岩坂健志氏(日本興亜損害保険CSR室)/成泰鉉氏(慶南大学教授)/見目洋子助教授

◆申し込み・問い合わせ先◆

申し込み不要

③ 商学研究所公開シンポジウム「企業の社会的責任とは何か—コーポレートガバナンスと企業倫理を中

心にー」

11月5日(土)13時30分～17時。神田106号教室【講演】中村瑞穂氏(作新大大学院教授、明治大名誉教授)／水村典弘氏(埼玉大助教授)／吉森賢氏(放送大教授、横浜国立大名誉教授)【シンポジウム】パネラーは上記3氏と貫隆夫氏(大東文化大教授)／赤羽新太郎教授

◆申し込み・問い合わせ先◆

申し込み不要

④ 第24回市民と学生のための経営学部公開講座「昇竜 中国ビジネスの新展開—グローバルビジネスの光と影—」

11月19日(土)13時～。生田420号教室【講演、パネルディスカッション】増田辰弘氏(産能大教授)／牟田口雄彦氏(海援隊21代表幹事)／井上弘氏(エアコンサービス会長)／細野義彦氏(アイリテック会長)

◆申し込み・問い合わせ先◆

教務課経営学部 電話044-911-1256、E-mail mkyomu@acc.senshu-u.ac.jp)

⑤ エクステンションセンター公開講座 文学の森「〈夢〉を、読む～夢は文学にどのように現れたか～」

11月19日(土)、26日(土)10時30分～14時30分。生田213号教室【講演】高橋龍夫助教授／山口政幸教授／西條勉教授／廣瀬玲子教授。「貴重図書展示」と専修大学制作ネットアーカイブ「男踏歌—平安京の初春を寿ぐ」のビデオ上映あり(14時45分～15時45分)。

◆申し込み・問い合わせ先◆

エクステンションセンター事務課 電話044-911-1268、E-mail i-kouza1@acc.senshu-u.ac.jp)※いずれも聴講無料
